

講演 I

木更津工業高等専門学校
電子制御工学科 関口明生 准教授

小口径の漏水を不断水で修理するための補修具の試作開発

【要旨】館山市全域と南房総市の富浦地区・三芳地区では、浄水場から送られた水の約4分の1が漏水により失われている。水道局では年間400件超の漏水補修に追われている。補修全体件数の4割超は、直径30 mm以下の小口径塩ビ管の継手におけるひび割れが占める。しかし、これらを断水なしで補修する手立てがないために、作業員と供給先家庭それぞれにおける物理的負担と心理的負担が、不断水の補修方法に比べて大きい。そこで本校では、当該の地域的課題についての技術相談をもとに、小口径塩ビ管継手の漏水を不断水で修理するための補修具の試作開発を、昨年5月より進めてきた。本講演では、当該の試作開発の取組みについて報告する。

講演 II

木更津工業高等専門学校
環境都市工学科 島崎彦人 教授

千葉県での風倒木災害危険度の予測と可視化の試み

【要旨】令和元年の台風15号の接近・通過にともない、千葉県内の多くの地点で観測史上初となる最大風速や最大瞬間風速を記録した。この強風・暴風により、県内の広範囲で風倒木が発生するとともに、風倒木に起因した交通障害や通信障害、停電などの災害、すなわち、風倒木災害が発生した。強い勢力の台風は、地球温暖化により今後も増加する傾向にあると予測されていることから、風倒木災害の再発と激化が懸念されている。本講演では、風倒木災害の未然防止、被害の軽減あるいは災害復旧のための諸施策の立案に貢献することを目的として取り組んでいる、風倒木災害の発生危険度の予測と可視化手法の開発について報告する。

テクノフォーラム

木更津高専 技術振興交流会 | 2024-01-30

日時 令和6年1月30日（火）15:00～17:00
場所 オンライン開催（Zoom配信）
対象 どなたでも参加申込いただけます
申込 事前申込制。締切：令和6年1月23日（火）17:00
左下のQRコード あるいは 下記URLから申込
<https://forms.office.com/r/Nm0S8y1gWu>

タイムテーブル

15:00～15:10	開会挨拶 中野 賢二 氏（木更津高専 技術振興交流会 会長） 山崎 誠 氏（木更津高専 校長）
15:10～15:55	講演 I 関口 明生 氏（木更津高専 電子制御工学科 准教授）
15:55～16:40	講演 II 島崎 彦人 氏（木更津高専 環境都市工学科 教授）
16:40～16:55	事務局からの報告
16:55～17:00	閉会挨拶

